

第一看護科2年生

「災害救護」の訓練に参加しました。

これまで2年生は特別教育「災害救護」を、卒業生の方の講義などにより学習してきました。平成19年度は、実際に名古屋第二赤十字病院で行われた災害発生時の救護訓練に参加しました。学生の役割は患者役、家族役、評価者でした。学生はこの時のために早期から学習を重ね、当日は患者役は本格的なメイクも施され、患者役・家族役になりきって真剣に取り組んでいました。今回の実体験によって学生は、災害時の医療従事者の役割の重要性を強く感じる事ができたようです。



「旧ユニホーム」長い間ありがとう！

第一看護科第35回生でストライプのユニホームはなくなります。記念すべき最後のユニホームで、卒業される3人に「ユニホームの思い出」をインタビューしました。

早川麻里絵さん

このユニホームを着て実習をしていると患者さんやスタッフの方から「その水色のストライプは県総の学生さんだね」と声をかけられることがありました。このユニホームは代々県総の学生が着用した歴史のあるものなんだなあと思いました。私自身、今しか着ることができないとっても学生らしいユニホームが好きでした。



櫻井英樹さん

実習中にユニホームを着ることで気持ちが引き締まり、「今日も1日頑張るぞ!」という思いにさせてくれました。自分たちのユニホームを気に入っていたので、このユニホームが僕たち第35回生で最後になってしまい残念です。

大柳佑衣さん

患者さんに「ユニホームかわいいね」「さわやかだね」とよく言われました。看護師さんや他の看護学校のシンプルなデザインのユニホームと違い、学生らしいデザインでお気に入りでした。ストライプには着やせ効果があり、先輩や学生の間で人気でした。

愛知県看護研修センターが併設されて5年が経過

平成15年に、当校に「看護研修センター」が併設され、5年がたちました。研修に参加していただいた方の中には、卒業生も見かけます。結婚して育児もひと段落された方が、再就業のためにカムバック研修を受講されたり、病院で実習指導者をされている方が愛知県臨地実習指導者講習会を受講されています。卒業してからも、それぞれの場所でみんな頑張っています。

これからも、研修センターは、看護職員の専門性・実践力向上のために、いろいろな研修を計画していきますので、県内の卒業生の皆さん、どんどん応募して参加してください。



<看護職カムバック研修>



<平成19年度愛知県臨地実習指導者講習会(第1回)>

愛知県立総合看護専門学校のホームページアドレス <http://www.pref.aichi.jp/imukokuho/sogo-kango/index.html>

編集後記

学校の先生方、投稿して頂いた皆様のご協力により、会報第2号を、会員の皆様にお届けすることができました。今回、全国で活躍している卒業生からの「仲間に伝えたい一言」では、パワーと感動をいただき、「総看だより」編集の原動力になりました。ご協力いただいた皆様、本当にありがとうございました。

編集委員 鈴木邦子 江上菊代 三澤靖子 江口八代美 前田洋子



同窓会会員の皆様いかがお過ごしでしょうか。同窓会会長 鈴木邦子

役員・会員の皆様方や事務局の先生方のご協力により、総看だより第2号を発行することができました。第2号には、各方面で活躍されている皆様の現状をお伝えできればと遠方の会員の方にも原稿をお願い致しました。快くお引き受けくださりありがとうございました。届きました原稿を読ませていただき、あらためて卒業生の皆様が様々なところで活躍されていることを実感致しました。また、初めての試みとして学校祭に参加し、「卒業生による相談コーナー」を開きました。若い方から中堅の方まで大勢の会員の方が回答者として協力くださいました。また、在校生の方が大勢相談に訪れてくださり、先輩・後輩の交流ができて楽しいひと時でした。

同窓会規約には、「会員相互の親睦並びに会員の知識及び技能の向上を図るとともに、母校の発展に寄与することを目的とする」とあります。平成18・19年度の活動がその目的に少しでも寄与できていることを願ってやみません。同窓会の皆様の御活躍と御健勝をお祈りいたします。



学生一人一人を大切に教育を目指して 学校長 中井加代子

早いもので、会報創刊号の発刊から2年が経過しました。会員の皆様、いかがお過ごしでしょうか。

本校も統廃合により第一看護科のみとなって3年目になりましたが、看護教育の益々の充実と、附帯事業である看護研修センターの運営に、教職員一同、日々努力しております。幸い、本校に対する受験生や外部からの評判は年々高まっており、看護専門学校では県内トップクラスと自負しているところです。

去る3月の卒業生114名は、おかげ様で全員看護師国家試験に合格し、また、全員本校同窓会に加入していただきました。今頃は、新人ナースとして一生懸命頑張っている頃だと思いますので、先輩の方々の温かい御支援をよろしくお願いいたします。

また、学校では、平成21年4月から新カリキュラムがスタートするため、現在、カリキュラム改正の準備に取り組んでいる最中ですが、今後も、看護技術教育の強化と学生一人一人を大切に教育を心がけて、頑張っていきたいと思っております。

これからも、同窓会の皆様の応援をよろしくお願い申し上げます。



平成20年度 同窓会総会のご案内

日時:平成20年10月18日(土)13:00~15:30
会場:名古屋第二赤十字病院(研修ホール)
会費:1,000円

〈日程〉12:30~13:00・・・受付
13:00~13:45・・・総会
13:45~14:00・・・休憩
14:00~15:30・・・講演

〈講演内容〉

テーマ:奇跡の復帰“光のステージ”へ
闘病・ひきこもりを乗り越えた先にあるもの
フルーツ&オカリナによるトークコンサート



《講演者プロフィール》

<ESPERANZA/えすべらんさ>

「クローン病」との闘病と再発を描いた「愛という名の奇跡」がテレビで放映され、それを機に奥田良子氏(フルーツ&オカリナ)と、心身を支え続けた夫の奥田勝彦氏(ベーススト)で結成。性折から社会復帰に至るまでの「出会い」「励まし」「自分一人できているのではないこと」など、自分の経験をコンサートで語り、その経験は多くの年代の共感を呼び、夢と希望と勇気を贈り続けている。

★★出席される方は別紙はがきを切り取って郵送してください。★★

東に西にと地域を走りまわっています

保健科 平成6年度卒業
第24回生 池田 久絵



東に結核の新登録が出れば、直ちに患者・家族と面接をし、「いつでも相談にのるから心配しないで」と伝え、西に未熟児が生まれたという連絡が入れば母子の支援を行い、南にケースの相談があればその対応と…東に西にと地域を走りまわっています。保健所では、管内保健医療福祉関係者等を集めた会議や研修会、年毎にテーマを決めた研究事業等もあり、その打ち合わせ・調整等の仕事も多いです。

先日ある研修会で十数年ぶりに保健科時代の同級生に会い、活躍の様子を聞いてうれしく思いました。学校の同級生というのは何年たってもいいものだなと感じている今日この頃です。

その後のわたし

第一看護科
昭和56年度卒業
第9回生
保健科
昭和57年度卒業
第12回生
服部 早苗



地元企業に産業保健師として勤めた後、結婚して九州へ、10年間の専業主婦を味わいました。

現在の仕事は、高齢者の介護予防支援です。公民館をまわり転倒や認知症予防の教室を、参加者と楽しく行っています。もっと科学的根拠のある指導をしたいと思い、昨年健康運動指導士の資格をとりました。

リュックにジャージでジョギング通勤。私自身も自立した高齢者を目指して「貯筋」に励む毎日です。

現在、京都にいます

第四看護科 昭和63年度卒業
第17回生 江川 美由紀



卒業後、大学病院で臨床経験を重ね、看護学校の専任教員を経て、現在は介護福祉士の教育に講師として携わっています。既に教育環境に身をおき10余年、学生との邂逅と別離に人生そのものが有形・無形の人格形成に至らしめ、今日の自分が在るのだと感謝しております。学生の前に真摯な態度で在りたいと心に刻んでいます。

下呂温泉で同窓会を開けたら

第二看護科
昭和62年度卒業
第16回生
西 まり子



第二看護科を卒業して三年後から、私は地元に戻り県立下呂温泉病院で勤務しています。二年前から外來勤務となり、患者様がより良い環境で生活できるよう、病棟や地域との連携をとりながら継続看護に取り組んでいます。

毎年、同期で集まっているようですが、三年前に参加した以降、なかなか顔を合せません。卒業以来会っていない仲間も多く、または非下呂温泉で同窓会を開けたら・・・と思っています。

いつも笑顔で！をモットーにこれからもがんばりたいと思います。

今回は、遠方で活躍されている卒業生から、たくさん寄稿していただきました。

仲間に伝えたいこの一言

アメリカの病院でインターンシップを経験

第一看護科
平成6年度卒業
第21回生
村瀬 由佳



実習の時に臨床指導者の方に憧れ、名古屋第二赤十字病院の循環器病棟に勤務しました。辛い時も先輩や同期に助けられながら働いた5年間。その後は夢であったアメリカの病院でインターンシップを経験し、多人種中で過ごし、医療制度や文化の違いなど多くの事を学び帰国しました。その時、創傷ケアに興味を持ち、ケアを学べる病棟で働く予定が、なぜか現在もCCUを併設する循環器内科、外科混合病棟で働いています。重症度も上がり看護力が必要な現在は、ストレスも多いですが、スタッフに支えられ、又プライベートを充実させてリセットして過ごしています。

今後は海外と医療の両方に携わりたいと思っています。

仲間よ!(^^)! 福井に集まれ!

臨床看護学第三科
昭和50年度卒業
第4回生
新福 せつ子



卒業後、宮崎に帰郷し、早30年余りが過ぎようとしている。九州の陸の孤島と呼ばれている宮崎も、東国原知事のPRにより、「神話と伝説・大陸と緑の国」として全国的に有名となった。

平成18年度の同窓会は、「宮崎シーガイア」で開催した。3人の幹事と良き思い出となるよう計画を立て、楽しい一時を過ごすことができた。昔と変わらない友との再会に驚きつつも、同じ目標を持ち、学んだ日々がとても懐かしかった。

昨年の台湾旅行には参加できなかったが、今年は何がなんでも同窓会に参加するぞ!!という強い思いを胸に抱き、仕事に励んでいる。

仲間よ!! 福井に集まれ!!

お互い、ストレスを溜めず、第2の人生に向けて頑張りましょう!!余暇を利用して是非、天孫降臨の地・天照皇大神とこのはなさくや姫に会いに、おじゃったもんせ(*_*!!)



同窓会活動として、初めて学校祭に参加しました

平成19年11月3日(土)の学校祭では、「卒業生による相談コーナー」を開きました。相談者総数は71名で、卒業生は22名参加しました。本校の受験を希望する高校生の参加や、「就職後のこと」「進路について」「国家試験について」「学校生活について」等の相談内容が多かったです。いろいろな不安を持っていることが分かり、少しでも後輩の役に立てたいと思いました。また、久しぶりに母校でゆっくりと時間を過ごし、過ぎ去った日々を懐かしく思い起こすことができ有意義でした。これからも、後輩と先輩の交流を大切にしていきたいと思います。卒業生で参加していただいた下記の方々ありがとうございました。

心身障害者コロニー：福垣郁子さん・福田裕樹さん・山中賢治さん 小児保健医療総合センター：岡戸敏子さん・杉山侑紀さん・竹内圭さん
県立がんセンター中央病院：加藤さやかさん・中村直子さん 名古屋第二赤十字病院：川原沙緒里さん・近藤麻以さん・和田あゆみさん
県立循環器呼吸器病センター：林鶴子さん・山田薫さん

40歳からの再就職

臨床看護学第三科 昭和52年度卒業
第6回生 辻本 則子



卒業後2年余りで結婚、主人の転勤で病院を退職し、名古屋から四国高松にやってきました。以後11年間専業主婦として子育てに奮闘しましたが、長男の小学校入学を機に、再就職に挑戦しました。40歳からの職場復帰で戸惑いもありましたが、泌尿器外來で11年間、現在は小児科外來で勤務しています。ADHD、LDなど発達障害を持つ子供達の多い事や、いじめや不登校になりそれに悩む母親が相談に来るなど、子供達が置かれている現状の厳しさに驚いています。また、放任、過保護による子供の生活習慣病肥満も社会問題となっています。

当院の小児科は、アレルギー、発達障害、小児肥満で患者会をつくり、病院職員全員でサポートしています。私は小児肥満グループに属し、年に4、5回程度ハイキングなどの野外活動に子供達を参加させています。定年までカウントダウンとなり、体力勝負ですが、この年になり、子供の可愛さや愛しさが認識され、この職業を選んで本当に良かった。私の天職としみじみ思うこの頃です。



年1回の海外旅行を励みに

第四看護科
昭和63年度卒業
第17回生 河合 里美



総看卒業後、岐阜の実家に戻り、平成2年より新設の津守市医師会病院に勤務して18年になります。その間、結婚、3人の子どもの出産、ケアマネージャー、糖尿病療養指導士の資格取得など家庭と仕事の両立が大変な時期もありました。しかし、家族の協力もあり、現在は病棟師長として忙しい日々を送っています。年齢を重ねるごとに悩みは変わりますが、年に1回の海外旅行を励みにして、看護師を続けていきたいと思っています。今年、長女が看護の道を目指します。娘と看護について語れる日を夢みて・・・。